

# 令和5年度 がん教育総合支援事業

## 「がん教育推進指定校授業研修会兼指導者講習会」



開催日:令和5年12月20日(水)

場 所:海津市立日新中学校

対 象:第2学年・近隣学校職員(小・中・高)

### 1 事業の趣旨

日本人の死亡原因の1位であるがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい知識を深める教育は不十分であると指摘されており、子供たちががんについて関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動を取ることができるようにするとともに、健康といのちの大切さについて主体的に考える力を身に付けていけるようにすることが求められている。そのため、本事業を通して、地域の実情に応じたがん教育の推進を支援する。

### 2 事業の内容について

#### ①授業研修会(公開授業)

第2学年の学年学級活動として、医師・元がん患者をゲストティーチャーとして招き、最新のがんに関する情報や、患者の実体験や思いなどにふれた。

#### ②指導者講習会

岐阜県教育委員会体育健康課の担当主事の講話及び、公開授業で指導した教諭・医師・元がん患者への質問等を行う。



### 3 生徒の感想

- ・がんは治りにくい病気で、検査や予防することが大切だと思っていたけど、精神的にとってもつらいということが分かったし、身近な人の支えがなかったら乗り切ることができないと知りました。自分も支えることができるような人になりたいけど、何をすればよいか分からないし、つらいこともあると思うから、相談して、解決してみんなが幸せになればいいなと思いました。
- ・元がん患者の講師の先生は、家族がいつも通りの生活をしてくれたことがうれしかったと言っていたけど、自分だったら普段通りの対応ができなくなるんじゃないかなと思いました。少しのことにも過剰に心配して、相手が嫌な気持ちになってしまうと思いました。がんになった方の家族や周りの人がどのようなことをしていくのがいいのか考えることができました。
- ・もし自分のがんになってしまったら、まずどう接してほしいか伝えたり、マイナスに捉えたりせず生活していけたらいいと思いました。がんになっても一人で抱え込まずに、多くの人に相談して、少しでも心の負担を減らそうにしたいなと思いました。
- ・がんは早期発見できれば9割が治ることを知りました。この話を聞いて少し安心したけど、二人に一人はかかる病気だから、私もがんになる可能性があると思います。がんの予防は私たちのように中学生は生活習慣に気を付けることだと思います。検診ができる年齢になったら、検診を受けたいし、周りの大切な人にも検診を勧めたいです。
- ・今日の話聞いて、生きていることは当たり前じゃないなとあらためて思いました。がんは身近な病気だし、自分が将来かかる可能性もあるから、かかった時は「がんと闘う時に今しかできないこと」「がんだからこそできる事、分かること」を大切にしたいと思いました。健康でやりたいと思っただけでいい今だから、何事にも感謝していきたいです。今日の話が聞いて本当によかったです。